

市制施行40周年

広報



第553号

あくね

阿久根特産
アクネ
うまいネ
自然だネ



(消火器を使っでの消火訓練)

平成5年

2月号

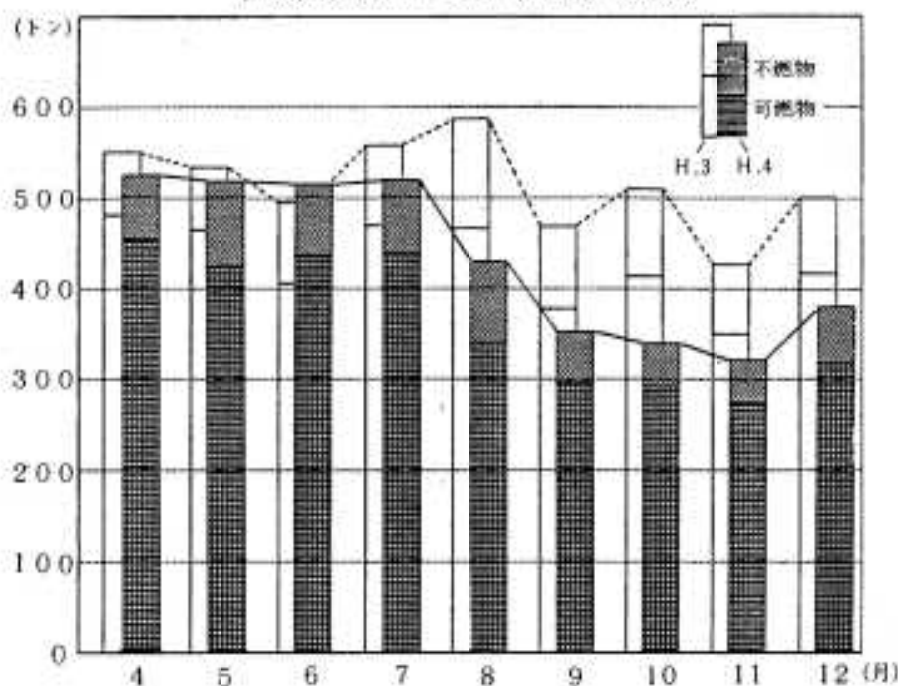
つねに防火意識を!

収集用ゴミ袋統一事業

ゴミ減量に大きな効果

今後也更なるご協力を

市が収集したゴミ量（月別）の推移



昨年八月より実施している収集用ゴミ袋の統一事業は、市民の皆さんのご協力により大きな成果を上げています。事業実施と同時に可燃物及び不燃物ゴミ量が激減し、収集場所の美化の向上、作業の効率化へも予想以上の好影響が出ています。

一般に社会生活が便利になるにつれゴミは増える傾向にありますが、しかし、一人ひとりが現状を認識し注意を払いさえすれば、それは抑えられることを今の状況は証明しています。

今後もゴミの減量化及び環境美化へ市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

約3割の減量
周辺美化にも効果

収集用ゴミ袋の統一でゴミの量がどのように変化したか、昨年の四月から十二月までの間に市が収集したゴミの量の推移をグラフ化してみました。

袋を統一した八月からその量が激減していることがわかります。八月から十二月までの統計では一昨年の同じ月と比べ、可燃物では平均二十五％、不燃物では平均三十五％の減少となっています。四月から七月までは前年並の廃棄量があったものの、



袋の統一でゴミ量が激減

統一後からは軒並み二割から四割の減量が達成され、この事業効果がいかに大きかったかがわかります。

このままの状態を推移すると、ほぼ毎年増え続けていたゴミ量が、本年度は大幅に減少することと確実となっています。

また収集場所を見ても、以前は乱雑に出されていたゴミも一つにまとめられて出されるようになり、さらに袋が丈夫になつたことで、ゴミの散乱も少なくなり収集作業の効率化並びに収集所周辺の環境美化にも効果があがってきています。

このようにゴミが減った上な

現場の声



北薩広域事務組合
環境センター主任

池田宗隆さん

実行することが大切

増えるゴミに対処するため昨年、新たに近代的焼却施設を建設した環境センターへは、毎日、北薩地区2市4町、約10万世帯から出るゴミが集まっています。現在年間約22,000トン、1日平均約80トンのゴミを処理しています。

阿久根市はゴミ袋の統一を始めてから、可燃物と不燃物の分別が非常に良くなったと思います。以前は、燃える物の中にガスコンロ等の危険物が混入していることもありましたが、現在ではそのようなことも無くなったようです。生ゴミの水きりも良く、またダンボールのような大きな紙がなくなり、燃やしやすい、焼却炉にとっても良い状況となっています。

不燃物も処理しやすくなっていますが、現在センターに持ち込まれる約60%がビンなどのガラス類であり、これらを少しでもリサイクルの方へ回せれば、埋め立て処分場の寿命も長くなると考えます。阿久根市でもビン類の分別回収・リサイクルが始まることを望みます。

ゴミの量について、特に不燃物は本当に減量化できたか、もう少し様子を見る必要があるでしょう。ゴミ問題においては一人ひとりの意識の向上と実行が重要であり、それらがゴミ減量と処理施設の維持管理に大きな威力を発揮するものと考えます。

全国的に今後もゴミは増え続けるものと思われまふ。本市における今の状況は、一人ひとりが関心をもち、みんなで取り組めば必ずゴミは減らせることを示しています。私たちはこの状況を一時的な現象に終わらせることなく、今後もゴミを社会全体の課題としてとらえ、草の根からの行動を通じ、究極のゴミ減量化社会と言われるリサイクル社会の確立に向け努力していく必要があります。

今後とも、ゴミの減量ならびに環境美化のために市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

要因は、それまで家庭用ゴミと一緒に出されていた事務所ゴミが業者によって処分されるようになりゴミの廃棄方法が適正化されたこと、また規格化された袋を自己負担により購入することで市民のゴミに対する意識が高まり排出量が抑えられたことが考えられます。家庭用焼却炉の購入補助事業やリサイクル可能な古紙を回収する「リサイクルの日」の設定などもゴミの減量化に役立っているものと思われまふ。

袋の統一後、業者に収集される事業所ゴミの量も確かに増えていますが、その増加分は減量

一時的な現象に

終らせない問題意識を

された分の半分にも満たない量であり、総体的にゴミが減っていることは確かかなようです。

市と市衛生自治会は数年前からゴミの減量化に取り組み、ゴミ堆肥化容器及び水きりバケツ購入に対するあつせん補助等、実践的なゴミ減量活動を推進進めてきました。しかし、これらはゴミの増加を一時的に抑えることはできても大幅な減量には至りませんでした。過去においてほぼ増加の一途をたどるばかりであったゴミが、これ程短期間に減量できたことは予想を超える効果と言えます。

毎年のように増え続けていた本市のゴミ処理費用も、今の状態で行くと本年度分は増加せず済みそうです。

ゴミ袋が統一されたことで、一番大きく変わったのは、市民の皆さんのゴミに対する意識ではないでしょうか。家庭用焼却炉購入補助に対し当初の予定より三倍近い申し込みがあったことなどはそれを裏付けています。ゴミが増加する背景には、消費型社会が発達したことに加え、ゴミを出す側の私たちの無関心

さがあると言えます。今回の袋の統一は、ゴミへの無関心を無くすことに効果があり、市民全員が足並みをそろ



「リサイクルの日」も定着しました。

えて問題解決へ当たったことが、大きな成果を生みました。しかし、依然として社会システムが消費型社会である以上、全国的に今後もゴミは増え続けるものと思われまふ。

本市における今の状況は、一人ひとりが関心をもち、みんなで取り組めば必ずゴミは減らせることを示しています。私たちはこの状況を一時的な現象に終わらせることなく、今後もゴミを社会全体の課題としてとらえ、草の根からの行動を通じ、究極のゴミ減量化社会と言われるリサイクル社会の確立に向け努力していく必要があります。

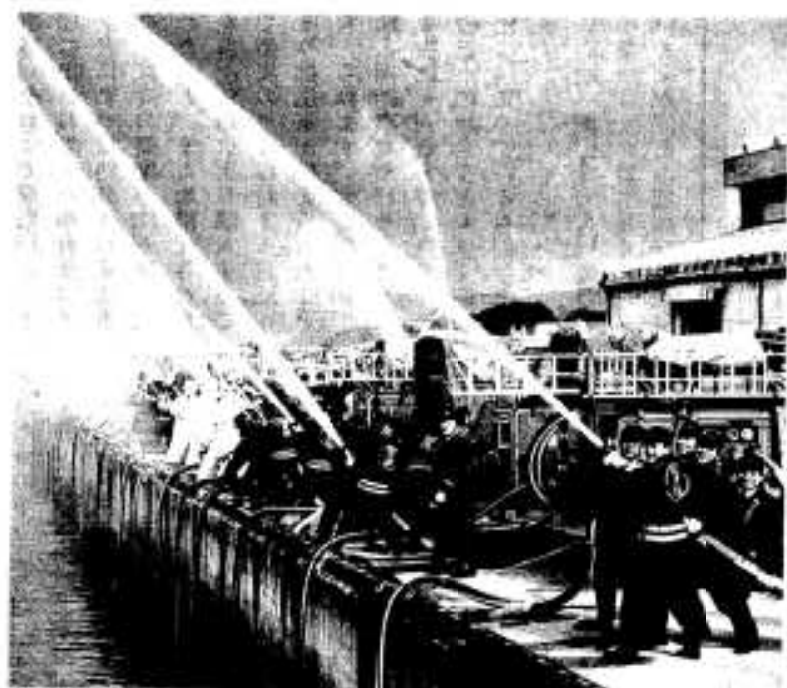
消防出初式

“防火防災にがんばります”

優良分団など表彰

新春恒例の消防出初め式が一月六日、消防署員をはじめ市内二十一の消防団員らに参加して市民会館前広場でありました。市民や後援会関係者らが見守る中、通常点検やポンプ操作が行われ、規律正しい機敏な動作に大きな拍手が送られていました。

式では優良分団や永年勤続者の表彰があり、この中で中央分団の橋房昭分団長が勤続三十年の日本消防協会表彰を受けられました。



新港で行われた一斉放水演習

この後、全員が隊列を組んで、新港まで市中行進。新港岸壁では合図とともに全分団が一斉放水を行い、新春の青空に水のカンテンを作っていました。

表彰受賞者

(一)内は分団名 表彰略

【市長表彰】

【優良分団】

多田分団 佐潟分団 赤瀬川分団 桑原城分団 尾崎分団

【消防庁長官表彰】

【退職報償銀杯伝達者】

山元正和(三笠) 高原重一(桑原城) 垂司(中央) 野中優交(弓木野) 宮路厚成(多田) 田中優二(同)

【日本消防協会表彰】

【勤続章(三十年)】

【功績章及び勤続章(二十年)】

宮内清一(中央) 角秀吉(同) 柿元敏明(同) 牛之浜一男(同) 精進章

【優良分団】

松永新市(牛之浜) 井坂敬一(黒之瀬戸) 川原克郎(中央)

【勤続章(三十年)】

【功績章(三十年)】

橋房昭(中央) 【県知事表彰】

点検を重ねて築く 火災ゼロ

春の全国火災予防運動 3月1日~7日



【勤続章(十年)】

川畑一夫(大川) 東則行(折口) 大田豊茂(尻無) 永井野昭則(尾崎) 田中正文(赤瀬川) 久保秀幸(多田) 岩崎則夫(西目) 跡上健策(三笠)

鯨島良治(同) 小田原卓也(中央) 荻野和美(鶴川内) 吉田武賢(西目) 濱崎熊一(牛之浜) 松永市夫(山下) 中村修二(尾崎) 飯原園幸人(古里)

【県協会出水支部長表彰】

【勤続章(十五年)】

谷口義美(桑原城) 藤崎博海(中央) 白肌政明(弓木野) 馬場陽一(古里) 早瀬利春(黒之瀬戸)

【優良分団】

春田幸一(折口) 知識幸治(山下) 米次清弘(田代) 堂後和明(瀬之浦) 藤園重美(西目) 児玉利信(桑原城) 陣之内博美(多田) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠)

【市長表彰】

【優良分団】

永年勤続幹部退団者感謝状 山元正和(三笠) 高原重一(桑原城)

【団長表彰】

【勤続章(十年)】

知識幸治(山下) 春田幸一(折口) 米次清弘(田代) 堂後和明(瀬之浦) 藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼

藤園重美(西目) 陣之内博美(多田) 児玉利信(桑原城) 田上康雄(三笠) 花田悟(大川) 早瀬則浩(三笠) 渡辺久治(同) 青龍秋和(中央) 谷口行幸(大川) 半礼



春の全国火災予防運動

1日当たりおよそ5人が火災の犠牲になっている

冬から春先にかけては空気が非常に乾燥し、強い風が吹く日が多いものです。さらに、暖房器具など火を使うことも多いため、1年のうちで最も火災が多い時期です。

日ごろから忘れがちな火の恐ろしさを改め

て思い起こし、火災を出さないためには何をすればよいのかを、「春の全国火災予防運動」を迎えて、みんな考えてみましょう。今年度の全国統一防火標語は、「点検を重ねて築く火災ゼロ」です。

最大の被害者は六十五歳以上の高齢者

平成三年の一年間に、全国で五万四千八百七十九件の火災が発生し、千八百七十七人が亡くなりました。一日当たりおよそ五人が、火災の犠牲になっていることになりました。特に、冬から春先にかけての火災で亡くなる人が多いのが特徴です。平成三年中をみても、一月四月と十二月の五か月間で、火災による総

死者数の五六%に当たる千十八人の方が亡くなりました。また、火災による損害も千六百十四億一千九百七十五万円で、火災一件当たり換算すると、二百九十四万円の損失額となります。亡くなる人が最も多い火災は住宅火災で、建物の火災の死者のうち、九〇%が住宅火災の死者なのです。国内で起きた全火

寝寝から早朝にかけての火災が多い

出火の原因では、こころろによる火災が六百五十六件、なかでも普及率の高いガスこころろが最も多いのです。次いで、たばこ、放火、たき火の順となっています。寒い時期は、暖をとるための火気の使用が増えます。

器具や火の取り扱いには、十分注意しましょう。火災発生の時間帯で多いのは、深夜から早朝にかけてです。特に多いのが午前一時台の火災で、平成三年中には百一人が亡くなっています。寝入りばなや熟睡

している時間帯に当たると、亡くなる人が多いといわれています。次いで多いのが、午後二時台と午後十一時台です。できるなら、家庭の中にも簡易型火災警報器を取り付け、寝ている間の出火にも対応できるように、万全の対策をとりたいものです。

火災は、慣れと油断から発生するといえます。一瞬にすべてを焼き尽くし、灰にしてしまう火災——怖い災害と分かっているのに、それを防ぐ気持ちが見えがちになっていませんか。火災からわが家を守るためには、「これだけ備えれば」「これだけ注意をしていればもう大丈夫」というものではなく、毎日心がけと行動を継続させていくことが、何よりも大切です。

避難場所や避難経路を数人で話し合おう

火災での死亡原因で一番多いのはやけど、次いで一酸化炭素中毒や煙に巻かれての窒息です。死に至る経過では、逃げ遅れが多いのが特徴です。発見が遅れ、気づいたときには火や煙が回り、すでに逃げ道がなかったと思われることが多くなっています。

焼死者のほぼ半数以上は、お年寄りや乳幼児、病人や体の不自由な人です。お年寄りや子どもは、玄関や非常口など、出口に近い場所に寝室をつくるような配慮が必要です。そして、日ごろから家族で火災があったときの避難場所や避難経路を話し

合うことも大切です。

各地の消防署では、「春の全国火災予防運動」の期間中、消火



訓練をはじめとして多くの行事を実施します。こうした行事には家族や地域で積極的に参加し、火災通報の正しいかけ方や初期消火のやり方、さらに正しい消火器の取り扱いなどを教わります。火災が起きたときでも慌てず、スムーズに火を消し止められるのは、一人一人の地道な努力なのです。

今年も大好評！イワシのふるさと便

『旬の味イワシ』を阿久根から

早朝より発送作業続く

七年目を迎えた「イワシのふるさと便」。一月十一日から申し込み受け付けが始まり、市役所三階に設けられた事務局には引っ切りなしに電話がかかっています。

今年は一月三十一日に第一便を発送。作業は早朝六時から関係職員が行われ、捕れたばかりのイワシを次々に箱詰めしていきます。寒風吹く中、「旬の味を阿久根から」と熱気に包まれた発送作業が続いています。



イワシの銀りんが躍る発送作業



水揚げされたばかりの新鮮さが売り物



「今日のイワシも形がいいゾ」



流れ作業で次々と箱詰めされます

「新年も安全運転で」

観光協会がボンタン600個を配布

「新年も安全運転で」と阿久根地区交通安全協会や市観光協会などが1月5日、阿久根警察署前の国道3号で、特産のボンタンをドライバーに配り、今年初の交通事故防止を呼びかけました。

600個のボンタンを観光協会が提供。約60人が黄色いタスキやハッピーをつけて「ボンタンの香りのようにさわやかな運転をお願いします」とドライバーに1個ずつ手渡しました。

ボンタンには交通安全のシールが張られたほか、新年らしく「謹賀新年 阿久根路をボンタン乗せて 安全に」というチラシも配られました。



「安全運転をお願いします」とボンタンを配布

「婦人の家まつり」のご案内

とき 3月5日(金) 17:00~21:00

3月6日(土) 9:00~17:00

ところ 市働く婦人の家

内容

▶作品展示

▶発表

▶講演会 14:15~15:30

講師 鹿見島純心女子短期大学

助教授 文珠紀久野先生

演題 「家・家族・女性」

どなたでも、お気軽にお越しください。

詳しくは、市働く婦人の家まで。☎3769

▶次から次へ「猫の手も借りたいくらい」



▶テープでしっかりと新鮮さを密封

▶目的地別にトラックへ積み込まれます



▶テープカットをして第1便を発送

▶相手に送られ全国各地へ



「宿泊者40万人を達成」

川添さん夫妻(佐賀県)に記念品など贈る

国民宿舎あくね

「国民宿舎あくね」が一月二十一日、オープンしてから通算の宿泊者が四十万人を達成。本市が市制施行四十周年を迎えていることもあり、四十万人目の宿泊客に記念品や花束などが贈られました。

同宿舎は昭和四十九年六月一日にオープン。当時五十三室、

定員二百五十人の規模は、南九州では最大のものでした。市街地から市内の大半、遠くは長島、天草、飯島、薩摩半島の山々を望むことのできる景勝の地に建てられ、その雄大な眺望は今でも訪れる人の心をとらえ、感動を呼び起こします。

平成元年から二年度にかけて、

に伴い企業や大学の合宿などでの利用も増えていきます。

記念すべき四十万人目の宿泊客となったのは佐賀県東松浦郡北波多村からの川添国重(62)・直江(58)さん夫妻。川畑文平助役から記念品が贈られると、「いい思い出になります」と思いもよらぬプレゼントに喜んでいました。



川畑助役より記念品を贈られる川添さん夫婦(右2人)

全面的な改修工事を実施。現在三十一室、定員百五十人で、このうち十一室がバス、トイレ付きなどの特別室となっています。平成二年七月には大宴会場「望洋」が完成し、利用客の増加が目だっています。改修後は「きれいで使いやすくなった」と評判も上々。総合運動公園の整備

文化講演会

講師は、テレビ「まんが日本昔ばなし」で有名な

とき 常田富士男 さんです。



日時.. 2月28日(日)13時30分

会場.. 市中央公民館大ホール

入場は無料。常田さんのあったか〜い話をみんなで聞きましょう。詳しくは市社会教育課(市民会館内)まで。 ☎72-1051

職員募集のお知らせ

—国民宿舎あくね—

国民宿舎あくねでは業務量増大により職員を募集しています。新装なった国民宿舎で働いてみませんか。

▼職種(主な業務内容)

- 厨房(調理補助、食器洗浄)
- 客室(客室準備、宴会業務)
- 食堂(食堂配膳)

※年齢55歳位までの女性で5名程度

▼パート

土曜、日曜、祭日または17時以降のいずれかに働ける55歳までの女性で若干名

申し込み及びお問い合わせは、国民宿舎あくねまで。 ☎73-1411

酒本さんのいちごが初の県知事賞 —県メロン・いちご品評会—

第6回県メロン・いちご品評会が開かれ、いちご部門で本市湖区の酒本和子さんが最優秀賞にあたる県知事賞を受賞されました。本市からの受賞は初めて。酒本さんは鶴川内地区のいちご団地で約20アールのハウスを経営。いちごを栽培してから14年目になります。「指導を受けながら改良を加えてきました。仲間の栽培農家の方と一緒に勉強してきた事が実ったのでしょ



佐潟さんはヒモ絵で初の金賞 —県身障者作品展—

第20回県身体障害者作品展が1月20日から25日まで鹿児島市内のデパートで開かれ、ヒモ絵の部で愛和園の佐潟三俊さん(63)が最優秀賞に当たる金賞を受賞されました。作品展は身障者の社会参加意欲の高揚と県民の理解を高めるために毎年開かれているものです。金賞となったヒモ絵は佐潟さんが約4ヶ月かけて、色とりどりのヒモを丁寧に張り合わせ雄大な自然を描いたものです。本市からの受賞は初めてとあって関係者一同大変喜んでいました。



岩崎さんに緑十字金章 —永年にわたり交通安全運動に貢献—



東京都で1月14日に開かれた第33回交通安全国民運動中央大会において、長年にわたり交通安全に貢献した個人や団体に贈られる全日本交通安全協会表彰の表彰式があり、この中で本市大丸区の岩崎國藏さん(71)が最高章に当たる交通栄誉章緑十字金章を受章されました。

岩崎さんは昭和34年の阿久根地区交通安全協会創立当初より協会運営にたずさわり、58年からは同協会会長として、また昭和61年には県交通安全協会の監事にも任命され、協会活動の充実に努力されています。また、旅館業を営む傍ら各種団体等の要職を兼ねるなど、多忙な身にもかかわらず交通安全諸行事にも率先して参加し会員をリードされています。

特に、岩崎さんが阿久根ライオンズクラブ会長時代(昭和49年)に会員に呼びかけ始まった協会への広報車寄贈は、その後5年ごとの寄贈が定着し、交通安全の広報宣伝活動に大きく寄与しています。

岩崎さんは「今回の受章も会員の皆さんの協力があつたからこそ。元気な限り今後も交通安全の啓発につとめたい」と喜びを語っていました。

相 談

▼年 金 (市役所)	2月19日(金)	10時～15時
	3月19日(金)	10時～16時
▼税 金 (商工会議所)	2月22日(月)	10時～15時
	3月22日(月)	10時～15時
▼交通事故	2月18日(木)	9時30分～16時
	3月11日(木)	※

阿久根市長旗

九州選抜高校駅伝競走大会

3月28日(日)総合運動公園陸上競技場12時スタート

有名高校トップランナーらが阿久根路を駆け抜けます。

※詳しくは3月号に掲載

昔からの遊びを伝えよう

風づくりりや
おはじき遊び
下村区でふれあい学級

昔からの遊びや手作りの良さを伝えようと一月九日、下村公民館で子供とお年寄りのふれあい学級が開かれ、風づくりの指導がありました。

同学級は昨年从小・中学校が毎月第二土曜日が閉校日にな



風づくりを楽しむ生徒たち

ったことを利用して下村老人クラブ白濁会のメンバーが地区の小・中学生を集め開いているものです。これまで水鉄砲や竹トシボ、しめ縄などを一緒に作り交流を深めています。

風づくりは、竹をナイフで適当な太さに削り、ひもで骨組み

を整え、その上にビニールと新聞紙の尾を付けるといふもの。児童らはお年寄りや父母らの手を借りながら何とか風を完成。この日は風が無かったものの、全力疾走で糸を飛ばしていくと風はフワフワと天に舞上がり、児童らは大きな歓声を上げていました。

また、女子は貝殻でのおはじき遊びに興じ、昔からの遊びを満喫していました。

大川中が2連覇

県中学剣道新人大会

県中学新人剣道大会が一月二十四日、日置郡伊集院町の総合体育館で開かれ、大川中剣道部が二年連続優勝を達成。同時に三月末に開かれる九州大会への出場権を獲得しました。

大会では、大川中はシード校として二回戦から登場。谷山、国分南、串木野西、田崎、卑人と順調に勝ち進み、決勝戦では鯨良の山田中に三対二で勝ち越し、昨年に引き続き再び優勝旗を手に入れました。

昨年優勝しているとはいえず、今回初めて出場したのが四人とまだ経験の浅いチーム。しかし、

毎朝七時から朝稽古を行い、体力と技と精神を鍛えてきたことが、今回の優勝へつながりました。指導役の下園重志さん(74)は、「非常にチームワークがいい。九州大会は一昨年女子が優勝しているの、それに続きたい」と抱負を語っています。



自己記録の更新を誓う

一走り初め兼ね駅伝大会一

阿久根陸上スポーツ少年団とその父母ら約100人が1月1日、新港埋め立て地で走り初めを兼ねた駅伝大会を開きました。例年総合運動公園で行っていたジョギングを発展させ、今年初めて開いたもの。「明けましておめでとう」と新年のあいさつを交わした後、1周約1600mあるコースを5チームに別れて競走。全員自己記録の更新を誓い、心よい汗を流していました。



褒めて、双方ニコニコリー 伝統行事「麦ほめ」

小正月の伝統行事「麦ほめ」が一月十四日、倉津区で行われました。これは、十四歳以下の男の子が、地区内の各家庭を回り、豊漁、豊作など家業の繁栄を大声で祈願して回るもの。夕方、約十人程の小学生が集まり、玄関先で「○○さんの網はいい網、引きさえすりや金千貫千貫」などと丁字型のつえを腹にあて、



褒め言葉を連発。褒めてもらった家はお札に「お年玉」を包む習わしとなっており、子供たちもニコニコ顔でした。

アルバム



091211 内線 1214



ニユースポーツに挑戦

第1回スポーツ・レクリエーション祭

だれでも気軽にできるニユースポーツの普及と生涯を通じて健康づくりに取り組もうと一月三十一日、第一回スポーツ・レクリエーション祭

クリエーション祭が総合運動公園で行われました。
当日は、市内の老人クラブやスポーツ少年団、一般の親子連れなど約百五十人が参加。グラインドゴルフ、ターゲットバード



楽しいスポーツを発見(写真はターゲットバードゴルフ)

打って、目標の網の中に入れて、打数の少なさを競うもの。なかなか上にならぬ玉に参加者も一苦労。またベタンクは、あらかじめ設定した目標に鉄の玉を投げて、より近くに投げたチームが得点するという競技。鉄球がぶつかり目標から遠くへはじき飛ばされるたびに笑いが起きていました。

種目によっては初めての人も多く、最初は指導員の説明を聞きながらプレーしていましたが、ルールが簡単とあって、すぐに自分たちで練習を行うなど、ニユースポーツの楽しさを満喫していました。

ジャンボかるたに一目散 尾崎小で「郷土かるた大会」

郷土の風景や名所旧跡、特産品などを詠み込んだ「郷土かるた取り」大会が一月二十一日、尾崎小学校で全校児童が参加してありました。児童らは先生が読み上げたジャンボかるたのために全力疾走。体育館は級友らの元気いっばいの声援で包まれました。

かるたは昭和六十二年に市郷土教材開発委員会がまとめたもので、市内の児童生徒らが郷土

文化財を火災から守れ!

—消火器の使い方も確認—

文化財防火デーにちなみ1月26日、臨本馬場区の西徳寺で文化財防火訓練が行われました。訓練は寺の楼門内から出火したとの想定で始まり、まず住民による初期消火、消防署への連絡が行われた後、消防署員と地元の三笠分団員が駆けつけ、実際に放水が行われました。

またこの日は、消火器を使っている住民による消火訓練も行われ、参加した人たちはいざという時に備え、熱心に消火器の使い方を学んでいました。



ジャンボかるたを取り合う場面も

を詠んだ「あ」から「ん」までの四十八首。尾崎小ではこれを基に、画用紙に特大の絵札(取り札)をつくり毎年かるた取り

大会を開いています。

頃は本市の自然や特産品を織り込んだものばかり。先生が「大しもの ひとみやさしい やせいじか」「きびなこと いっしよにのむ ぼんたんしゅ」などと読み上げると、児童らは一直線にスタート。三人一組で一人ずつ交互に出場し、取った札の枚数を競いました。

児童らは休み時間などを利用して暗記しており、先生が上の句、あるいは下の句だけを詠んでも、取った絵札の残り部分をみんなの前で暗唱して披露。先生や級友から盛んな拍手が贈られていました。

グループ紹介
107

チームの輪 「トマト」

私たち、トマトチームは監督の飛松庄市さんを始め、数名の男子コーチと共に、一年前に結成されたばかりのホヤホヤチームです。

メンバーは十名と人数的には少し寂しいですが、バレーボールの好きな人たちの集まりでできています。まだホヤホヤチームというだけで、試合経験も殆ど無い私たちですが、「いつかは大きな大会へ」と、目標を大きく持ち、日頃の練習に励んでいるところです。(本当かな?)

練習も和やかな雰囲気の中で行われ、何よりチームの輪を大切に行っているため、チームワークはバッチリです。バレーボールだけでなく、月一回行われる懇親会では、ボー



リング大会・カラオケ大会と催しも盛りだくさんです。練習よりこつちの方をみんな楽しみにしている様です。

練習は週一回、水曜日に大川中体育館で行っています。何か運動をしたいと思っているあなた、私たちと一緒にさわやかな汗を流してみませんか。

キャプテン 下園尚子

郷土資料館の展示資料紹介

鰐口

(わにぐち)

④5

神社やお寺の堂前につるし、参拝者が綱をふり打ち鳴らす物で、金鼓(かねつづみ)ともいいます。証鼓を二つあわせた形に似ており、中は空洞で下方に一文字の裂け目があり、鰐が口をひらいたような形になっています。表面には施入者名、年紀、鑄物師名などの銘文を刻する場合があります。

大きさは、一般的には直径二〇〜三〇センチメートルですが、一〇センチメートルのものから一メートルを超えるものまでさまざまです。

資料館にあるものは、昨年暮阿久根中学校一年生が、グリーン作戦の際、大曲橋上流の溝の流れ口で発見し、大田幸寛君が代表で持参し寄贈したものです。

直径一六センチ、口の長さ二六センチ、厚さ七センチ、重さ一五キロの小さいものですが、市内の神社やお寺にいまつるされているところが多いので珍しい貴重な文化財です。



友だちの輪 ⑥9



尾崎区
有田ゆかりさん (19)

- 趣味 ドライブ、料理
- 好きな花 でっかいひまわり
- 理想のタイプ くいきい引っ張って来て、優しい人
- 思い出 沖縄に行ったこと
- 何か一言 ぐっぐりと温泉旅行にでも行きたいなァー。

※次の友だちを紹介してください。
高松区の浦真理子さん
次はあなたの出番です。

第7回郷土資料館特別展

郷土の日本画家
丹宗律光展

市制施行40周年を記念して、郷土の日本画家丹宗律光氏の植物図鑑12巻を出版しましたが、たくさんの方々から、大変好評を得ています。

これに応え、今回出版できなかった未公開の作品を展示して、さらに律光画伯の素晴らしい作品にふれ、豊かな文化の向上に役立てたいと思います。

皆さんの多くのご来場をお待ちしています。

- 期間 3月2日(火)～3月14日(日)
- 会場 阿久根市郷土資料館
(市立図書館2階)
- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 展示内容 植物、果物などの写生画

お問い合わせは市立郷土資料館まで

☎72-0607

図書館だより

今月の新着図書

- ▼有明夏夫「誇るべき物語」
- ▼中村真一郎「女性幻想」
- ▼深田祐介「地球味な旅」
- ▼赤川次郎「幽霊屋敷の電話番」
- ▼渡辺淳一「何処へ」
- ▼生島治郎「ホームシック・ベイビー」
- ▼阿久悠「無名時代」
- ▼小杉健治「検察者」
- ▼遠藤周平「秘太刀馬の骨」
- ▼マルグリット・デュラス「ヤシ・アンドレア・シュタイナー」
- ▼石川真介「越前の女」
- ▼長野まゆみ「レブリカキット」
- ▼ジム・ムーア「ピル・クリントン」
- ▼谷恒生「那須与一」
- ▼山下惣一「にぎやかな大地」
- ▼南原幹雄「百万石太平記」
- ▼トマス・パーマー「世界の終わりのサイエンス」
- ▼秋元松代「それぞれの場所」
- ▼フィリップ・K・ディック「メアリと巨人」
- ▼福本武久「家族トライアングル」
- ▼伊井直行「悲しみの航海」

寄贈紹介

市内鶴本瀬の浦上区の早水利美さんから、市立図書館へ浄財の寄附がありました。ありがとうございます。早水文庫として活用しますので、御利用ください。

阿久根短歌会

一年にうから三人をうしなひし
父を想へばわが胸いたむ

上野 河南誠一郎
霜あつき畑をとり立ち雄鳩がひらめきさまに森に消えたり

臨本 宮原 範子
水槽の水を替ふれば金魚らの尾
縞の赤の動き勢ふ

赤瀬川 新坂 邦
百年の榎の残るわが生家児の代
にして新しく建つ

新町 遠矢 律
六畳の部屋いっぱい朝日さし
病の癒えしわが塵りをり

臨本 土田芙蓉子
言ひ残すことありながら伝へ得
ず駅のホームに息子を送る

新町 竹下百合子
老鈍のわれに余りて事多し終ら
ぬうちに一日暮るる

本町 河南 節
元旦をかつて病院に迎へしが今
朝はわが家に隣蘇をいたたく

臨本 赤崎 タエ
みずからを幸せとせん一人くらし
空白むまで臥床に眠る

大丸 橋崎 幸
出水平野に渡り来し鶴一万余と
中学生らの観察の記事

愛媛 小島幸太郎

誕生 おめでとう



※敬称略

出生児	保護者(区名)	※敬称略
福水 舞子	正 敏(橋之東)	大山 北斗
西原 美幸	清 明(高松)	寺地 弘貴
梶尾 光司	光 幸(黒之浜)	坂上未奈美
岩崎かおり	文 吉(大林)	西高 漢太
岩元 公輝	健 (遠見ヶ岡)	倉津 瑛悟
倉津 春奈	勇 人(下村)	鶴田 敏
谷口 勇太	洋 一(尾崎)	落口 泰翔
野崎 涼太	道 治(瀬之下)	飛松 千咲
松林 真矢	利 満(柞)	上釜 匡貴
佐々木 弘	伝 (黒之浜)	小田原豪紀
		大石 愛
		巻木 謙一
		遠 哉(浜)
		石澤 拓郎
		猿楽 翔平
		山崎由貴美
		洋 一(永田上)
		有川 晃
		上原景太郎
		福永由花梨
		児玉 雄志
		西田 眞美
		大山 北斗
		寺地 弘貴
		坂上未奈美
		西高 漢太
		倉津 瑛悟
		鶴田 敏
		落口 泰翔
		大田 桃子
		飛松 千咲
		上釜 匡貴
		小田原豪紀
		大石 愛
		巻木 謙一
		遠 哉(浜)

趣味と仲間づくりに、知恵と創造の表現を!

高齢者創作文化展

- ◇日時 2月28日(日) 9時~16時
- ◇展示場 阿久根市民体育館(市民会館隣)
- ◇出品作品
書道・絵画・写真・彫刻・生け花・陶芸・手芸・俳句・短歌・一般工芸作品・盆栽等

- ◎作品を受け付けます!
- ◇対象 概ね60歳以上の方なら誰でも
- ◇受付 作品は2月27日(土)12時~16時の間に、直接会場へ搬入してください。その他詳しくは、阿久根ロータリークラブまで。

☎73-0097

給油所の日曜当番店

石澤 拓郎 宗昭(古里)
猿楽 翔平 寛(牧内)
山崎由貴美 洋 一(永田上)

○2月21日

丸善商事(新町) 720266
寺下石油(橋之西) 752077
○2月28日

阿久根石油(鷓見町) 720318
落合石油(上原) 790055
○3月7日

J A阿久根(折口) 791302
松永石油(牛之浜) 741342
○3月14日

丸久石油(赤瀬川) 720657
田中石油(大川) 740039
○3月21日

マルハ商事(洞) 791555
油上石油(新町) 720807

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返し等の寄付がありました。ありがとうございます。

※敬称略

- 花田フミ子(仲仁田) 花木光徳(仲仁田) 中野永生(仲仁田) 倉津良子(倉津) 深田辰雄(簡田) 末吉スエマツ(仲仁田) 京田ノブエ(瀬之上) 藤園ナエ(馬見塚) 羽田ミチエ(甚野)

ごめいぶんを お祈りします

※敬称略

死亡者(区名)	※敬称略
花田 勇72(仲仁田) フミ子	久木田菊江66(浜) 米村次郎
吉野 タケ87(洞) 認	倉津 清信72(倉津) ヨシ
牛之濱政義61(牛之浜) 悦子	町田ヤエギク79(瀬之下) 武徳
深田ミチエ91(簡田) 辰雄	牧内 義雄82(牧内) テロマツ
河北センマツ94(桐野上) 下石義尚	平國 正義92(甚野) 富義
假屋 イロ直(上野) 興之助	濱田スエキク74(洞) 前田千鶴
小牟田ハル85(新町) 勇	野村 ヤチ51(黒之浜) 忠義
川畑シヅミ83(新町) 喜久美	水野ケサミツ88(尻無下) 大田高徳
前田ヒロ子68(折口東) 静男	松下末次郎89(桐野下) 義夫
佐瀬 トキ73(佐瀬) 三千年	松永サナエ87(飛松) 順吉
鶴田 便70(尻無上) ハル子	
餅井 富子39(脇馬場) 弘志	
小原ヨセノ89(高之口) 豊子早	
吉村 三郎51(本町) 嘉子	
大石ナツエ80(上野) 正美	
濱田 サチ69(下村) 正俊	
横山 フミ84(上町) 良和	
花田 深81(川畑中) トミ子	
野中 郵82(弓木野) カンキク	
下園 サヤ91(的場) ミエ	
大数トシエ88(波留) 卓雄	
上園 眞康69(高松) リツ	



ハナビシ

篤志寄付

広報紙送付のお礼として、愛知県の本輝雄さんより寄付をいただきました。ありがとうございます。

- 松元誠(浜) 佐瀬三千年(佐瀬) 假屋興之助(下村) 高口八太(高之口) 上野イクエ(大尾) ※篤志寄付
- 阿久根カトリック教会(クリスマス献金) ぐちなし会(結成10周年記念チャリティゴルフ大会) Aコープ三笠店

所得税の確定申告は 正しくお早めに

平成四年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まりです。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、長時間おまちいただくようなことになりかねません。できるだけ税務署から指定された相談日に出掛けるなどして、確定申告は早めに済ませるようしてください。

また、確定申告は「申告書の書きかた」や「所得税の確定申告の手引き」を参考に、昨年一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行ってください。
なお、事業所得、不動産所得又は山林所得のある白色申告者

の方は、確定申告書に「収支内訳書」を添付することが義務付けられていますので、ご注意ください。

詳しいことは、お近くの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

〔注〕個人事業者の消費税の確定申告は、三月三十一日です。土曜日はすべて閉庁日となりますのでご注意ください。
※阿久根会場（市役所二階大会議室）での申告は、二月二十五日から三月三日までです。



納付は必ず期日内

国民健康保険税第6期納期限 3月1日(月)

あなたの納める保険税は
あなたのため、そしてみんなのため!

●税金を滞納すると督促を受け、財産を差し押えられたり、延滞金がかかったりするなど不愉快な思いをします。

けん銃、麻薬・覚せい剤等の 償減にご協力を!

昨今、けん銃や麻薬・覚せい剤など(白い粉)によって引き起こされる凶悪犯罪が増加し、平穏な市民生活を脅かしています。

これらは、ほとんどが外国からひそかに持ち込まれています。

税関では、これらを水際で摘発し国内への流入を防ぐため、皆様のご協力をお待ちしています。

皆さんが見たり聞いたりしたことでもしや!と思われたことがあったらどんな小さなことでもご一報を!

密輸 110 番は、鹿児島税関支署へ
☎(0992) 26-3345
〒892 鹿児島市城南町45-2

土地取引の前に 届け出を!

国土利用計画法では、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発を防ぐため、土地取引について届け出制を設けています。

一定面積以上の土地の取引をしようとする場合は、あらかじめ(契約の前に)土地売買等届出書を土地の所在する市町村長を経由して県知事に提出し、利用目的及び取引の予定価格の審査を受けることになっています。

なお、その結果は、市町村長が受理してから六週間以内に直接県から通知しますが、その通知を受け取るまでは契約を締結し

てはいけません。

◇届け出の必要な土地の取引

(売買、交換、代物弁済等)

●都市計画区域

五千平方メートル以上

●都市計画区域以外

一万平方メートル以上

※個々の取引面積は小さくても、合計した全体面積が基準以上となるような一団の土地取引は、個々の取引について届け出が必要です。

◇届け出をしないで土地取引をしたり、偽りの届け出をすると六か月以上の懲役または百万円以下の罰金に処せられることがあります。

詳しくは市役所企画課(☎☎1211内線1231)または県庁企画調整課にお問い合わせください。

在宅医さん

- 2月21日 北国医院 ☎0016 (本町)
 - 2月28日 林胃腸科外科 ☎3639 (大丸)
 - 3月7日 平医院 ☎2626 (吉里)
 - 3月14日 上野医院 ☎0420 (本町)
 - 3月14日 阿久根内科医院 ☎0578 (新町)
 - 3月20日(春分の日) 植村整形外科 ☎1041 (段)
 - 3月21日 脇本病院 ☎2121 (橋之西)
 - 3月21日 有村産婦人科内科 ☎4180 (上野)
 - 3月28日 上園医院 ☎1055 (本町)
- ※緊急の場合、市民病院はいつでも対応します。

フンちゃん のひまわり

2月23日
3月2日・11日・23日
10時から10時30分
出水保健所から保健センターにひきとりにきます。



計量器の定期検査

計量法に基づく計量器の定期検査が次の日程で実施されます。

取引上または証明用などで使用する計量器を持っている方は必ず検査を受けてください。

※持参するもの……計量器、受験通知書、印鑑、検査手数料

検査日	時間	受検場所
3月3日(木)	11:00~16:00	大川出張所
3月4日(木)	10:00~11:30	J A牛之浜事業所
	13:30~15:30	高之口公民館
3月5日(金)	10:00~15:00	J A三笠支所集荷所
3月8日(月)	11:00~15:30	大丸公民館
3月9日(火)	10:00~15:30	大丸公民館
3月10日(水)	10:00~15:00	大丸公民館

▶指定された受験場所を受検できない方は、その旨連絡の上、上記日程で都合の良い時に受検してください。

なお、12時から13時までは昼食時間ですので御了承ください。

▶連絡場所、お問い合わせは市役所商工観光課まで。
☎73-1211 内線1112

県営堤山団地 入居者募集

牧内区の県営堤山団地への入居者を次のとおり募集します。

▼募集する住宅

県営堤山団地1号棟

赤瀬川1892~14

4階建

3DK(浴槽バーナー付き)

▼募集戸数 16戸

▼月額家賃 32,500円

▼申し込み受付

2月15日(月)~3月19日(金)

▼抽選日 3月22日(月)

▼入居開始日 4月1日(水)
▼お問い合わせ及び受付場所
出水土木事務所 総務課
(県合同庁舎 4階)
☎3111 内線363

市奨学生を募集

▼応募資格

阿久根市に3年以上在住する者の子弟で、優れた学生及び生徒であつて経済的理由により就学が困難があると認められる者など。

▼奨学金貸付予定月額

(一)内は採用予定人員
●高等学校等(2人)
8,000円
●高等専門学校等(2人)
15,100円
●大学(10人)
34,300円

▼貸付期間 平成5年4月から、在学する学校の最長就業年限の終期まで。

▼返還 卒業後1箇年目から、その全額を10年以内の月賦、半年賦または年賦で返還する。

▼募集期間 平成5年3月1日から3月25日まで募集し、4月上旬に面接を行い、選考します。

詳しくは、市教育委員会庶務課まで。
☎1211 内線1311

ホームヘルパー募集

市では寝たきり老人等の介護をしてもらうホームヘルパーを募集します。

▼募集人員 1名

▼応募資格 市内在住の35歳以上50歳までの女性

▼応募方法

2月22日(月)までに履歴書1通を市役所福祉事務所へ提出してください。
その他、詳しくは市役所福祉事務所まで。
☎1211 内線1413

通信制課程生徒募集

鹿児島西高校

通信教育により高等学校の卒業資格を取得できます。中学卒業(見込み)の方あるいはもつと教養を高めたい方を対象に生徒を募集します。

▼学科 普通科(年次制コース、自由コース)
▼就業年限 4年以上

▼願書受付
3月22日(月)~4月8日(水)
▼入学許可
入学願書、調査書および健康診断書の記録を総合して行う。
▼入学案内等の請求
3月10日より
その他詳しくは、県立鹿児島西高等学校通信制入学係まで。
〒890 鹿児島市下伊敷町44番地4 ☎0992293744

人口		2月1日現在(内は前月比)	
人口	28,250人	(+13)	
男	13,101人	(+15)	
女	15,149人	(-2)	
世帯数	10,395戸	(-5)	
出生	24人	死亡	28人
転入	66人	転出	48人

編集後記

本市の「冬の風物」ともなつた「イワシのふるさと便」。しかし、実際の発送風景を目にした方は少ないと思います。流れ作業による箱詰めはスピーディーな作業が要求されますが、各人が各部署で工夫をこらして次々に新鮮さを密封していきます。本市のPRにも大きな効果がある事業。機会があったら、あなたも情報発信の現場をちょっとのぞいてみませんか。(貴)